

過年度工事に関する調査について（案）

令和5年10月13日

福島地方環境事務所

【目的】

- 過去の工事における同種の事例と無断持ち出し防止に関する取組を調査・情報収集することで、今後の再発防止対策の検討に資することを目的とする。

【調査1】

工事記録等による同種事例の有無の分析・調査

- 各工事で実施した解体件数（大型建物・家屋の各件数）
- 各建物の解体で発生した金属くず等の数量
- 解体前の金属くず等の発生見込み量の把握の可否の検討
- 解体現場における廃棄物の数量等の管理の実態の把握

【調査2：過去の元請受注者へのヒアリング】

過去5年間（平成30年度以降）に行われた被災した家屋・建物の解体工事を対象とする

過去の元請受注者の代表者（所長、現場代理人等）に、以下のような項目についてヒアリングを実施

- 金属くず等が発生した場合、元請受注者として、作業員の動きや金属くず等をどのように管理していたか
- また同様に、下請業者はどのように金属くず等を管理していたのか
- 金属くず等を持ち出された可能性はあるか
- 他の工事も含めて金属くず等を持ち出した情報を聞いたことはあるか

- **工事記録等により、過去の持ち出しの可能性を把握するためにより効果的な方法はないか。**
- **過去の同種事案の可能性等について、当時の元請受注業者から広く回答してもらい、今後の対策の参考とするためにはどのような点に配慮・工夫を行って調査したらよいか。**